

研究課題番号	3G-2102
研究課題名	工程内廃材使用による廉価高強度チタン合金開発と応用
研究実施期間	2021 年度～2023 年度
研究機関名	大阪大学
研究代表者名	近藤勝義

1. 委員の指摘及び提言概要

スポンジチタン製造廃材を用いたチタン素材再生技術に関して、材料系の基礎的研究に加えて実用的にも多くの研究成果を得ており、技術開発に向けた道筋が明確になっている。特に、工程内チタンスクラップを用いる新規技術として十分な検討が実施され、研究室レベルでない装置を用いた実証的な技術開発は高く評価できる。また、低コストで十分な強度や性能を有する合金開発に一定のめどがついたことに大きな意義がある。産業技術に留まらずに多方面の利用先を開拓し、成果を社会的に最大限に生かす方向性を検討してほしい。今後は、特許や学術論文などの成果の発信を進めるとともに、積極的な事業展開を目指した社会実装に期待する。

2. 採点結果

評価ランク：S